

畫題の撰擇は元とより重要なれども、妙作は必ずしも畫題の如何に依らず、寧ろ其現はし方に依るなり、例へばヴェニスの景は寫眞にて見るも中々美しけれども、併かもターナーの名作たるヴェニスの風景と比較せば全く顔色なしと云ふは、ターナーは自然の壯麗なる美趣を更らに引立て、描出したるが故にして、自然にては鄙近龕野なるものも此大家に手にかゝれば忽ち壯嚴美麗のものとなるなり、畫家が自然に對する各自の感興に従ひ、畫題の現はし方の異なるや論を俟たず、且つ之れが爲め作品に各自の畫風も現はれ、固有の獨徵性格を發輝する所以ともなるなり。

パレット(その一)

戶外寫生用として一番使ひよいのは二枚折パレットの大きいのである、繪具はチューブでもカツプ入でもまたはケークの軟かに練つたのでもよい、入用だけ出して置くので、専門家は多く四寸に八寸位ひの大なるものを用ひる。

次に多く用ひられるのは練製繪具の入つてゐる箱で、これは兩方にパレットのある方がよい、一方の平面の分は小部分の繪具をと、一方の皿形の方で空や水など澤山の繪具を溶くに用ひる、これも小なるものよりはなるべく大なる方がよい。

ブリキ又は陶製の、楕圓或は角形のパレットがあるが、これは室内用であつて戶外では不便である、縁へ出した繪具の使ひ残りの仕末にも困るし、空など塗る時に、澤山の水を漑へることが出来ぬため、十六切位ひのものならよいが、八ツ切以上になると二度も三度も新に繪具を溶かれぬからスケツチの場合など殆ど役に立たぬ。

*

*

*

*

*

*

*